

## 8 市民利用施設の再配置における主な意見聴取の手法

- ・市民利用施設の再配置にあたっては、対象施設の内容や利用状況に応じて、意見交換会、説明会、ワークショップ、市民意見募集、アンケート調査など、適切な意見聴取に努めます。
- ・必要に応じて、主な意見聴取の手法を組み合わせるなど、幅広い意見の反映に努めます。

手法	概要・目的
意見交換会	主に市民と職員が市の施策について意見を交換する手続。 また、施策に対する市民の理解を得るために行う説明会の中で、意見の聴取や意見の交換を行うものも含む。
市民ワークショップ	主に市民同士が、議論や作業などを重ねながら、共通認識を深めていく会合。
市民意見募集	市の施策に対する市民の意見を募集する手続。 ※パブリックコメント手続を除いたもの。
アンケート調査	市の施策に対する市民の意向を把握するために行う調査。 「意見募集」のように自由に意見を述べるものではなく、あらかじめ設定された質問に答える形式で行うもの。

## 9 有形固定資産減価償却率

有形固定資産のうち、償却資産の取得価格等に対する減価償却累計額の割合を有形固定資産減価償却率（資産老朽化比率）といい、この比率が高いほど、資産の老朽化が進んでいると言えます。

$$\text{【算定式】} \quad \frac{\text{減価償却累計額}}{\text{有形固定資産合計} - \text{土地等の非償却資産} + \text{減価償却累計額}}$$

本市の有形固定資産減価償却率（資産老朽化比率）は、市ホームページで公開している「千葉市財務書類4表（財務書類4表の解説）」巻末の参考【主な財政指標】に掲載しています。

<https://www.city.chiba.jp/zaiseikyoku/zaisei/zaisei/zaimusyorui.html>（市ホームページ）

### ■有形固定資産減価償却率の推移

年度	一般会計等のみ	全体 (公営事業会計込)
令和2年度	〇%	〇%
令和元年度	69%	63%
平成30年度	68%	62%
平成29年度	68%	61%
平成28年度	66%	60%